

第13回「桜まつり」を終えて

4月7・8日の両日「桜まつり」が無事に終了いたしました。昨年は東日本大震災の影響で全国的に自粛ムードが広がり綺麗な桜の花も寂しく散っていきましたが、今年は待ちに待った「桜まつり」・・・稲荷山公園の桜はまだ四分咲き?といったところ。

7日の土曜日は風がとても強く寒い日になりましたが早朝より来園者の数は増えていきました。8日は前日に比べ暖かい一日となり、来園者も例年以上に賑わっていたように思われます。舞台も歌・踊り・楽器演奏と両日共大盛況でした。

今回も登録団体の活躍は素晴らしいものでした。文団連の歌「稲荷山桜音頭」「狭山ふるさと音頭」と歌・踊りに協力していただき、登録団体の大切さはこの「桜まつり」で充分発揮できたと思います。また、子どもたちものびのびと楽器演奏や踊りで盛り上げてくれました。

我が文団連も7日8時から徐々にスタッフが集まり舞台・テント設営、そして会場作りと其々の分担に分かれ開催に向けて準備を進めました。今回の反省点は文団連の事業でありながら参加団体以外の文団連個人スタッフが少なかった事で、とても残念に思います。半面、高齢化が進む中、女性スタッフのパワーの凄さと、体調がよろしくないのに自らチラシ配布や色々のご指導下さった小高顧問の姿に感動いたしました。

また、今回から電気供給は発電機に頼る事になったのですが、供給量が足りずに音響の今野氏が無料で発電機を持参してくださったり、水富よさこい8連会長が会場用にと無料でテーブルを製作してくださったりしました。「桜まつり」は舞台鑑賞だけではなく、多くのスタッフの大きな陰の力も知っていただければと思います。

(実行委員 藤寿紫峰)



「舞台上のゴミを取るのもスタッフの役目」

文化体験フェスタ開催迫る —— 対象は小中学生

第21回青少年文化体験フェスタが来る7月7日(土) 午前10時より午後3時まで狭山市立笹井小学校で開催されます。今回体験できる講座は、日本舞踊、お箏、民謡(三味線や民謡太鼓、尺八等)、オカリナ、朗読劇、和太鼓、おしぼい、世界のことで遊ぼう、パソコン、絵画、工作、生け花など12講座です。文化団体連合会所属の団体の会員ががていねいに楽しく指導します。特に今回初めて参加の和太鼓指導のさやま太鼓の皆さんは張り切っています。

なお、今回の笹井小学校で、市内全小学校の全てで実施したことになります。

常任理事会便り

定期総会も無事終了し、平成24年度の活動が始まりました。常任理事会では、本年度の重点項目を実施していくために、昨年に引き続き二つのプロジェクト活動を進めていきます。

「狭山の民話を普及する会プロジェクト」では、継続して狭山市内の文化財や旧跡を巡る「民話めぐりウォーキング」を体験実施し、来年度から一般市民を対象としたイベントを開始するための準備を進めます。

「被災者支援プロジェクト」では、今年度、文団連の各団体へ協力を呼びかけて、狭山市在住の東日本大震災被災者の方々にいろいろな文化体験を楽しんでいただくための支援策を検討していきます。

なお、本年2月に実施した狭山市民芸術祭企画公演「日本のおどり 世界のダンス」に多くの市民の皆様方にご来場いただいた結果、チケット売上げ代金の20%、129,200円を、狭山市役所被災者受入対応チームに寄附することができました。ご協力いただきました皆様方に厚く御礼申し上げます。

小川事務局長